

8. 環境教育科目履修案内

環境教育科目の目的

環境教育科目は、地球と人類が共存するために求められている“持続可能な社会”を思考できる科学技術者となるための基礎的環境教育を行うことを目的としている。

表 11 環境教育科目

学 期 等	第 1 学 期		第 2 学 期	
類	授 業 科 目	単 位 数	授 業 科 目	単 位 数
2, 3, 7類	環 境 安 全 論	2-0-0		
1, 4, 5, 6類			環 境 安 全 論	2-0-0

履修における注意

環境教育科目の授業科目としては環境安全論のみが開設されている。環境安全論の講義は、類ごとに編成されたクラスにより、1-6類は大岡山の講義室、7類はJ221講義室（すずかけ台）で行われる。また、類によって履修できる学期が異なっている（表11）。

9. 創造性育成科目履修案内

創造性育成科目の目的

資源に乏しいわが国は科学技術立国として発展していくことが不可欠である。そのためには新しいものや技術、アイデアを生み出すための創造力が重要となる。創造性育成科目はそのような創造力を育むことを目的としている。

創造性育成科目には総合系と理工系があるが、ここでいう創造性育成科目とは、総合系に属するものであり、今年度は以下の1科目である。（注）卒業に必要な単位数124単位以上に含まれない。

ただし、無機材料工学科、化学工学科（化工コース）、経営システム工学科、電気電子工学科においては、理工系広域科目として取り扱う。

授業科目	単位数	推奨履修学期
ものづくり	0-1-1	2

なお、理工系の創造性育成科目は、2年次以降に所属している学科で行われる創造性育成科目であり、その詳細は「27. 創造性育成科目の案内」（P176参照）に記載されているので、十分に注意願いたい。